

毎日のお仕事、組合活動ご苦労さまです
組合費・国保料などは
毎月群会議で納入
 2ヵ月めを遅れる方は「資格継続願い」を提出して下さい

けんせつ北部

(購読料は組合費の中に含まれています)

定価30円

発行所
 東京土建一般労働組合
 城北ブロック会議
 東京都豊島区西池袋5-22-15
 ※板橋 (3963) 5325
 電話 練馬 (3825) 5522
 北 (5390) 6021
 豊島 (3986) 2471
 発行人 代表者 川合 正人
 発行日 1日、9日、17日、25日

公契約条例を一緒に

区発注工事の実態を聞く 地元業界団体と懇談



労働環境改善や公契約条例について意見交換した板橋区建設関連協会との懇談

7月15日、地元業界団体の訪問行動を取組みました。板橋区建設関連協会を組合の役員・書記4名が訪問し、協会側は3社が参加して懇談を行いました。

熱中症や現場の安全対策について、各社から、「この時期は休憩をこまめに取らないと、集中力が続かない」「なるべく

送風機付き作業服の着用をお願いしている」と、下請への文書配布や現場巡視などの実施が報告されました。

建設現場の労働環境改善を主な目的に、昨年、建設業法など「担い手3法」が改正されたことについては、板橋区発注工事では十分に反映させておらず、「担当者によっては金額しか見ていない」などの実態が話されました。

現場改善への努力を宣言した「パートナーシップ協約」は、以前に結んだ協約が今も有効なのを確認しました。

「区の職員の積算能力が落ちている」「公契約が導入されると、価格交渉の手段が省ける」などと話し、「公契約条例を一緒に取組んでいきましょう」と呼びかけると、「ぜひ」と答えました。

また、アスベスト対策について、「板橋区は石綿建材の事前調査をしっかりやってほしい」などの要望を聞きました。公契約条例の制定を板橋区に求めることでは、

分会合同 納涼イベント

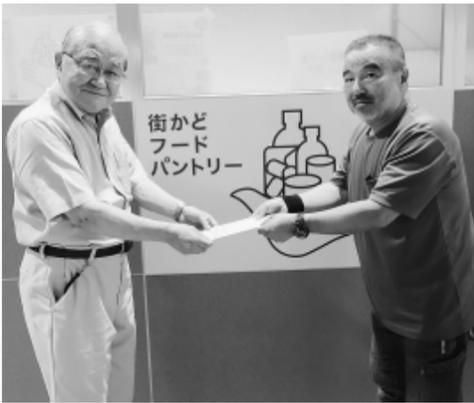
子ども向け企画もあり、家族で参加できます。くわしくは各分会へ

分会	日程	会場
大山、仲宿、大谷口、大谷口北、氷川	8月24日(日) 12:30~	板橋支部会館 (あーちぶらざ)
舟渡高島、徳丸、新赤塚、上赤成増	8月24日(日) 18:00~	高島平区民館
中央、志村坂上、前野中台、坂下、蓮根	9月21日(日) 15:00頃~	板橋支部会館 (あーちぶらざ)

戦争を体験した組合員の大先輩たちを20年前にも取材した。当時の教官部長から「大人になつての体験を直接聞けるのは最後になるから」と言われ、本当にそうなるってしまった。あの時、聞いておいて本当に良かった▼話してくれた何人かは「思い出して、つらくなったから記事に載せないで」と▼空襲で、一緒に逃げた人が隣で死んでも、必死に逃げ回った。軍需工場で働き、給与がまともに払われず、「非国民」扱いを恐れて文句を言えなかった▼軍隊では上官から殴る蹴るの毎日。不満のガス抜きのため、同じ部隊に配属された慰安婦の所へ通うことが強制された。支給された避妊具が持ち物検査で見つかる、死ぬほど殴られるので、演習や移動の時に野原へ捨てていた。敵と戦闘のドサクサまぎれに、パワハラ上官を後ろからみんなで撃った。頭がかしくなる兵士がたぐさついた▼これらは、複数の人が同じことを話していたものだ。その人だけの体験ではない。つまり、戦争では同じことが起りうる。体験を知って、歴史の正しい理解が、平和への出発点だろう。

住宅デーでの募金 社会福祉協議会へ渡す

包丁研ぎなどの奉仕活動で集まる
 7月22日、社会福祉協議会を、林副委員長ら役員が訪問し、住宅デーで集まった募金を手渡しました。
 6月8日に開催した住宅デーでは、各分会で、包丁研ぎやまな板削りなどの、地域住民への奉仕活動を行いました。その際に、6万7458円の募金が集まりました。



住宅デーで集まった募金を社会福祉協議会へ渡す林副委員長

対話の運動が ますます大切に ますます大切に

労働学校で

【教育宣伝部長・吉田 広基・記】7月13日(日)板橋支部会館にて労働学校が行われ、18名が参加

しました。午前中には第1講として『憲法と建設労働運動』というテーマで、代々木総合法律事務所の前弁護士

の生駒巖先生による講義でした。日本国憲法の中から重点を分かりやすい説明で

変遷について再認識することができたと思いま

す。憲法は日本のあるべき国の形を定めたもので、つながらずということを守

す。それをさせることが我々の生活を守ることに

つながらずということを守

ついでに、私たちが建設に携わる仲間に関係が深い労働基本権の第27条、28条に

ついての話と、第9条の戦争放棄、軍備及び交戦権の否認の部分の解釈の

その到達と課題」というテーマで、東京労働者学習協会の常任理事の江口

健志先生による講義でした。最後に参加者を3つの

激動の情勢の中、アメリカの力でも排外主義が台頭する背景が、これまでの新自由主義によって

格差と貧困を生んだことにあるのを学びました。そして世界の労働運動の

最後に参加者を3つのグループに分けて本日の感想を話し合い、総括の発表をして閉会となりました。参加された皆さん

は仲間との話題にしたいだけだから幸いです。



「地域に根ざした労働運動がますます重要」と労働学校で話す江口先生

私は戦火を生きました

組合員の体験談を聞く

終戦80周年 平和特集

今年、終戦から80年となる節目の年です。満州事変、日中戦争から太平洋戦争へと拡大し、1945年8月に、日本の降伏で第2次世界大戦が終わりました。日本で310万人、アジア全体で2千万人以上が亡くなりました。

日本国内では、空襲などで多くの民間人が殺され、戦後も、深刻な食糧難が続き、多くの人が命を落としました。当時を生きた組合員から、貴重な体験を聞きました。

何十機ものB29が 毎日イモ畑でうづくまる

舟渡高島分会 林 富夫さん

私は、神奈川県茅ヶ崎に両親・兄弟と7人で住んでいた時、毎晩のようになり、南の海から飛んできて、まず、高射砲があつた茅ヶ崎を少し爆撃して、私の頭上を通り、近くにあった有名な寒川神社で旋回します。そして、横須賀の方を爆撃して帰っていききました。

何十機ものB29が編隊を組んで、うなり音を上げて近づいてきます。父の音が地響きする中で、機銃掃射がバババババと鳴り、その恐ろしさを覚えていきます。翌日、見渡すと、亡くなった人もいました。私は機銃掃射の跡を、葉きようを掘り、思わず線路へ落としてしまいました。



何十機ものB29から身を伏せた林富夫さん

なくすために

米は裏山へ毎日隠した 農家も育てたものは全部供出

徳丸分会 伊庭一幸さん



私は、福島県の郡山から20km離れた二瀬村にいました。

小学生の間は一年から6年まで、ずっと戦争中で、「〇〇陥落」と言われて村でうちん行列を毎日やって、出るのが義務でした。

小学校では、1年生から勤務奉仕で、くわ・かまを背中に背負って、毎日、かぼちゃ作りをさせられました。授業は全然

1931年、日本軍は南満州鉄道の線路を爆破。それを中国軍の行為だと主張して、軍事行動を開始し「満州事変」が起りました。

日本政府は、協定外交路線をとっていましたが、軍部はこれを無視して戦線を拡大。戦況を伝える報道に、不況に苦しむ民衆の多くは熱狂しました。

軍部の暴走を止められず、1937年「日中戦争」、1941年「太平洋戦争」へと、アジア・太平洋の全域に軍事政権を樹立しようとクーデターを試みる（NHK高校講座日本史を参考にしました）

日本とは 軍部が台頭して 暴走を止められず

戦争「一・二六事件」が起

見上げたら機銃掃射された伊庭一幸さん

「五・一五事件」や軍事政権を樹立しようとクーデターを試みる（NHK高校講座日本史を参考にしました）

明日死ぬと航空隊員 家に来て「飯盒をもらってくれ」

分会 寺澤 成辰 赤上 寺澤

私は、鹿児島県の垂水という、鹿児島市から船で校島の反対側に渡った所の中にいました。終戦時は小学4年生でした。

小学校の入学式の最中に、米軍機が飛んできて、上級生におんぶされて防空壕に逃げました。その頃、まだ、偵察機が空を飛んでいました。

それからは、ほぼ毎日、空襲ばかりで、学校の授業もろくにできず、私が九九を習ったのは、戦後6年生になってからです。学校では、毎朝、竹



九九は戦後、6年生で習った寺澤成辰さん

ある日、米軍機を道路に出て見ると、目の前を3発、機銃掃射され煙が上がりました。まさか、飛行機から撃たれるとは思っていませんでした。学校教育の影響で、死ぬのがこわいとかは、全然ありませんでした。

農家でしたが、育てたものは全部、供出させられました。コメも、家宅搜索に入られて見つかるまで没収されるので、朝、米俵を裏山へかくして、夜は濡れないように家へ入れました。

学校の畑仕事から帰ると、すぐに山菜採りに行きました。

学校は、はだしてないから、飯盒をもらって帰って、帰る途中からぞろりをほきました。

家に居た時の空襲で、家の周りが竹やぶだったので、大丈夫だろうと父親と一緒に見に行ったら、機銃掃射を受けました。弾が家の戸袋に当たって、命拾いました。周りが怖かったです。周りの竹やぶでも、上空からは家や人がよく見えることに、後で気づきました。

鹿児島市内が全滅した空襲は、夜、田んぼから防空壕を掘って暮らして、町は大騒ぎでした。

学校帰りに機銃掃射 いところが麦畑に押し倒してくれた

大谷口分会 岩井小夜子さん



機銃掃射を受けた体験を話す岩井小夜子さん

東京大空襲で、夜空が真っ赤になって燃えているのを見て、このままでは危ないと、仕事がある父と長兄を残して、家族で疎開しました。親戚の農家の納屋に、私と母・弟・兄・祖母の5人が、6畳1間で暮らしました。7月の夏休みの少し前でしたが、学校帰りに、B29が飛んできて機銃掃射を受けました。その時、一緒に歩いていて、近くへ入りました。それまでは杉並に住んでいたのですが、とっさに私を道端へ押し倒して、二人で麦畑に突っ伏して、かくれました。しかし、3月10日の

年生で、よく分かっていなかったのが、恐怖心はあまりなかったのですが、ともあれ、命拾いました。

再び戦争を

疎開し空襲は無いが 漁村には物が入ってこない

分会 塚新赤
向 繁夫さん

私は、小学1年生まで大阪にいましたが、年から年中、空襲警報で、空襲の中、家へ帰らせられ、家の周りの防空壕へかくれました。もう危ないのが実家のある人は田舎へ家族ごと移るようになって、福井県の玉川という30軒くらいの漁村に引っ越しました。

大根、豆などは1年分保管。その頃は、ワカメや天草が豊富にあったので干したり、「へしこ」という魚の塩漬けを作りました。みそ、しょうゆを作るにも、海水を煮て塩を作る作業から、家族総出で、やらされました。野ウサギを、わなをかけて捕まえて、海岸でさばいて肉を持ち帰りました。

最初、ボタンの制服と革靴で学校へ登校したらみんな着物だったので、物が入ってこない漁村で過ごした向繁夫さん



私は、埼玉大里郡御正村に住んでいました。荒川の対岸は、熊谷の町でした。近くには飛行場があったので、夜中によく空襲がありました。集落の火の見やぐらから鐘をたたいて「逃げろ」と言われると、家の庭先の、小さな防空壕に入りました。そのうち、鐘がなくなりま



馬に乗って田畑を耕すのを手伝っていました。食べ物は、食糧難なので、サツマイモばかり食べていました。小学校の校長が「みんな、弁当はサツマイモを持ってくるように」と言ったので、サツマイモだけを紙に包んで持っていました。

【書記局・金網祥瑚・記】7月22日、板橋区見次公園から北区中央公園まで国民平和行進が行われ、120名が集まりました。国民平和行進は全国各地で様々な団体がタスキをつなぎながら、核兵器廃絶と平和を訴えて行進するイベントで、板橋区は埼玉県からタスキを受取りました。



核兵器廃絶と平和を訴えて中山道を歩く平和行進の参加者

タスキをつなぎ 平和行進で受け渡す

沿道に平和を訴える

【書記局・金網祥瑚・記】7月22日、板橋区見次公園から北区中央公園まで国民平和行進が行われ、120名が集まりました。国民平和行進は全国各地で様々な団体がタスキをつなぎながら、核兵器廃絶と平和を訴えて行進するイベントで、板橋区は埼玉県からタスキを受取りました。

板橋でも空襲被害 死者500人以上



機銃掃射の跡が残る南常盤台の天祖神社

板橋には軍需工場や基地が多くあったため、空襲で大きな被害を受け

1945年4～6月にかけての空襲で、死者500人以上、罹災者約6万人、被害家屋1万1千軒以上とされています。4月13日の空襲では、東京大空襲よりも多い爆弾が投下され、板橋駅から大山にかけての焼野原になりました。6月10日の空襲では、東山町にあった市場周辺が爆撃や機銃掃射を受け

お知らせ

宿泊旅行補助

土建国保加入者は、本人・家族が宿泊施設を利用したとき、年度内に1回申請できます。「土建国保ガイド」の巻末にある支給申請書に、宿泊施設の証明をもらい、健康診断の受診状況を記入して、群会議で提出して下さい。75歳以上の組合員も申請できます。

予算要求ハガキ

8～9月の群会議で、東京都向けに建設国保の育成・強化、現行水準の補助金確保を求める要請ハガキを取組みます。

熟年の集い

9月8日(月) 18:30～グリーンホール
対象は65歳以上の組合員
申込は8月群会議でまたは群役員へ

PAL従事者会議

9月7日(日) 14:00～板橋支部会館
秋の大手企業交渉に向けて、現場情報や要求の集約を行ないます。

日曜健診

9月21日 下赤塚診療所
9月28日 小豆沢病院
10月19日 坂下診療所
(締切は約3週間前。平日はほぼ毎日可)
小豆沢病院では、じん肺・有機溶剤など特殊健診も同時に受診できます。石綿・アーク溶接・MOCAの特殊健診は平日のみ。

8月の専門部会 いずれも19:30～

- 22(金) 賃金・労働・仕事・技術
25(月) 財政
26(火) 社保19:00～
27(水) 組織・教宣・後継者
28(木) 厚文
他はありません

会議・休暇のため板橋支部事務所を閉めます

- 8月8日(金)～17(日) 夏季休暇
8月18日(月) 午後
9月2日(火) 一日

生活を互いに支え合う

ろうきん

労働組合が作った金融機関
組合員なら誰でも利用できる

ろうきん(労働金庫)は、労働組合が作った金融機関です。ろうきんを利用することで、他の産業も含めた労働者の生活を、お互いに支え合うことができます。組合員が利用できる魅力の一つとして紹介します。



「非営利だからこそ組合員が助かる制度です」と話す、ろうきん板橋支店の平賀さん

入出金の手数料 実質0円

銀行だと入出金のたびに数百円を取られます。

話を伺ったのは、ろうきん板橋支店の平賀健太さん。「ろうきんは、働く仲間という位置づけです。銀行とは違って、非営利だからこそ、組合員が生活が助かるような制度を作っています。大きく違うのは、手数料とローン金利だと言います。ただ、ろうきんは店舗が少ないため、通帳記帳がおそろかになりがちです。その点は、スマホから入出金の明細を照会できます。別の登録をす

れば振込もできます」と、他の銀行と同様のフオリがされています。
ローン金利は断然低い

ローン金利は、他の銀行よりも全然低いのが特徴です。「企業には融資利が低いので、元金を減らして、総支払額を軽減できます」と話します。口座の開設は、組合員が主に利用されています。ローンには、審査があるため誰でもとはいきませんが、これまで多くの組合員が利用して助かっています。

定額減税で

恩恵を受けてない人に

ようやく給付金

区から案内届く

2024年に定額減税が実施されましたが、まだ減税の恩恵を受けていなかった人への対応が、ようやく実施されることになりました。対象は、今年3月の確定申告で定額減税を引き上げた人、事業専従者など定額減税の対象外とされた人などです。対象者への案内が、区役所から順次、発送される予定です。申請手続きが必要な人と不要な人がおり、案内に記載されています。

膨大な作業
モレのおそれも

定額減税とは

増税メガネの思いつき

実施に2年かかり 尻ぬぐいが大変

「増税メガネ」こと、岸田前首相は、増税を連発して国民の反感を買った。ムギになった岸田内閣は定額減税を2023年秋に発表しました。十分な検討をせず、とにかく「減税」を決めたため、事業所には複雑な事務が、役所には膨大な作業が押しつけられました。実施に2年かかり、その最終処理が今回行われます。
また、低賃金と高齢化社会に伴い、納税額が定額減税より低い人や、そもそも納税額がゼロの人が、とても多くいます。
定額減税を引ききれない人に給付金
そこで、選挙対策もあり、「全国民に4万円」を行き渡らせるとして、定額減税を引ききれない人には、その分の給付金を渡すことになりました。
なお、定額減税を引き

求人・求職

求人

求人・求職
求人
○建築・土木・電気施工
管理技士 正規雇用/㈱
ハタ未来デザイン研究所
板橋支部事務所まで問合せ下さい。

会 ☎080-5576-4473 / 経験者・要資格・要普通免許

と想像されます。

自分が対象のはずなのに、9月になっても届かない場合や、届いたけど方法がよく分からない場合は、電話で確認しましょう。

板橋区は給付金コールセンター ☎663015976 (土・日を除く9時～17時)。

きれないと区役所が見込んだ人には、すでに給付金が支給されています。

2重に定額減税はさつつあんで良い

給与と年金などから2重3重に定額減税を受けた人がいます。当初は、確定申告で返納が必要としましたが、その後、返納不要とされました。「ごつつあんで」が通じる、なんて、おかしな税金制度を作ったことになり、国が管理しきれないのではありません。思いつきで政治をすると、尻ぬぐいが大変でした。